前画面へ戻る

科目名	芸術・文化遺産政策
配当年次	３年次
開講期間	秋学期
単位数	2
担当教員	奈良澤　由美(ナラサワ　ユミ)
期間・曜日・時限・教室	秋学期 水曜日 ４時限 ２２－１０２

※

授業の目的・目標	① 授業の概要： 文化財の破壊、発見、保護について学びます。とくにフランスを中心とした文化財保護政策の誕生と発展、そして現状と課題について考えていきます。授業は講義形式ですが、各授業において、理解したこと・興味を持ったこと・疑問に思ったことを簡単に記述し提出してもらいます。次の授業において、疑問・質問などについて答えていきます。 ②授業の目的： 「パトリモアン（文化遺産）」という概念の成立について理解し、その意義と問題点について再考し、現在の世界および日本の文化財保護の課題について自ら考えることができるような力を養うことを目的とします。 ③修得できる力： 文化財保護の歴史的・地域的背景を理解し、文化財保護について俯瞰的視座を得る（知識・理解）。 現存する多様な文化財をどのように活用することができるか、興味と問題意識を持つ（態度・志向性） ④授業の到達目標： 本学部のディプロマ・ポリシーにおける、「学びを通じて、教養を高め、国際社会や地域社会の一員としての倫理観・責任感」を得ること、そして「 幅広い教養や思考力・判断力」を身につけることが目標です。 ⑤実務経験と授業内容との関連： 該当なし ⑥地域に係る科目について： 該当なし
準備学習等の指示	文化財および文化史の知識が授業の理解には必要であるため、それぞれに扱う地域の時代背景について、授業時に推薦する参考書に目を通しておくことが望まれます。授業で扱う世界遺産については、ユネスコ世界遺産の公式サイト https://whc.unesco.org/en/list/にアクセスして自分で調べてみてください。 授業時に適宜内容を確認し、フィードバックを行いますが、そのような取り上げた

重要なポイントを中心に、配布資料やノートを見直して理解を深めてください。
課題の配布や提出を行うため、WebClass等のLMSを用います。

講義スケジュール

■1回目
【テーマ】　イントロダクション
【到達目標】授業の概要と目標、進め方について理解する。
【準備学習】シラバスに目を通し、この授業の主要事項を把握しておく。

■2回目
【テーマ】　文化財の破壊①
【到達目標】文化財の破壊とは何か。宗教や権力交代、戦争や都市開発など、過去に起きた様々な破壊について学びながら、文化財保護の課題について理解する。
【準備学習】 パリのノートル＝ダム大聖堂や沖縄の首里城など、近年に会った文化財破壊の事故について調べる。

■3回目
【テーマ】　文化財の破壊②
【到達目標】わたしたちの身近にある文化財の破壊について関心を持ち、文化財保護についての問題意識を養う。
【準備学習】身近に知っている文化財の破壊・喪失について調べる。

■4回目
【テーマ】　「世界の七不思議」①
【到達目標】文化財という概念の始まりともいえる「世界の七不思議」とは何であるのか、その歴史と概要を理解する。
【準備学習】ヘレニズム世界の歴史について調べる。

■5回目
【テーマ】　「世界の七不思議」②
【到達目標】 「世界の七不思議」のモニュメントのコンセプトが現代世界にまで与えている影響について理解する。
【準備学習】 「七不思議」の現代の例について調べる。

■6回目
【テーマ】　文化財の「発見」と「保護」①
【到達目標】啓蒙思想と歴史主義を背景とした過去の文化の再発見の経緯、フランス革命を経て文化遺産の概念の誕生までについての歴史的背景を理解する。
【準備学習】啓蒙主義とフランス革命について調べる。

■7回目
【テーマ】　文化財の「発見」と「保護」②
【到達目標】19～20世紀のフランスを中心とした文化財保護のための法整備と政策の展開を理解する。
【準備学習】前回の授業の復習をする。革命以降のフランスの政治史を調べる。

■8回目
【テーマ】　ユネスコと世界遺産①
【到達目標】ユネスコの世界遺産の成立と意義を理解する。
【準備学習】ユネスコのサイト（英語）を閲覧し、世界遺産のリストを把握する。

■9回目
【テーマ】　ユネスコと世界遺産②
【到達目標】世界遺産の分布、危機遺産、負の遺産について、それぞれの課題を考える力を養う。
【準備学習】前回の授業の復習をする。近年の世界遺産登録の状況を調べ、傾向を考える。

■10回目
【テーマ】　ミュージアム①：博物館/美術館の成立と役割
【到達目標】ルーブル美術館、大英博物館などの現代の代表的なミュージアムの成立までの流れを理解し、ミュージアムの役割や意義についての問題意識を養う。
【準備学習】世界の代表的な博物館/美術館を調べる。

■11回目
【テーマ】　ミュージアム②：世界のミュージアム
【到達目標】19世紀以降の多様な美術館の成立と、メトロポリタン博物館（アメリカ）、バルドー博物館（チュニジア）、日本の西洋美術館、国立博物館などのなどのコレクションを学び、課題発見の力を身につける
【準備学習】国立西洋美術館について調べる。

■12回目
【テーマ】　フランスの文化政策
【到達目標】フランスの各地域の文化政策の現在と課題を理解する。
【準備学習】フランスの地理を調べ、代表的な文化財を列挙する。

■13回目
【テーマ】　演習とまとめ
【到達目標】文化遺産とは何か、その保護と活用についての課題を考える。
【準備学習】これまでの授業について復習をする。

教科書　　とくにありません。

参考文献　適宜紹介します。

授業の方法　この講義は主として、講義形式で行います。
授業方法として下記のアクティブラーニングの手法を実践します。
・問答法（学生の意見や小テストの結果、アイディア、学習理解状況を聞いて、それを基に授業を進めていく）
・学生の回答などのフィードバックが授業の構成要素に入っている

・学生への発問及びその回答が授業の構成要素に入っている
・ICTを利用した授業内レスポンスの活用（クリッカー等）

【フィードバック方法】なお、小テスト・課題等については、
・ 各授業回で全体（グループ）にフィードバックを実施する

学生のオンラインなどを含めた学修をサポートするため、下記のLMSを使用します。
・WebClass

成績評価方法	【評価方法】毎回の課題、小テスト、演習 【評価割合】授業への取り組み状況（60%）、小テストと演習（40%） 【評価基準】授業内容の理解だけでなく、興味や疑問を持って主体的に取り組んでいるかどうかを評価基準にします。
オフィスアワー	出講日の昼時間
居室	12号館206
ホームページ	
その他特記事項	
添付ファイル	

前画面へ戻る

Copyright FUJITSU LIMITED 2005-2011